

平成30年度第2回北海道文化財保護審議会議事要旨

- 1 開催日時：平成31年3月5日（火）14時00分から16時45分まで
- 2 開催場所：道庁赤れんが庁舎2階2号会議室
- 3 出席委員数：9名
- 4 審議概要

(1) 開会

北海道教育庁生涯学習推進局長挨拶

(2) 報告事項

次の項目について、事務局から説明した。

ア 前回の審議会開催以降に指定・登録等になった文化財について

イ 平成31年度文化財保護関係施策の概要について

ウ 北海道指定文化財現状調査結果について

(3) 協議事項

ア 北海道天然記念物指定に係る諮問について事務局から説明し、協議を行った。

協議の結果、諮問物件「ナカガワニシン化石」について、委員の詳細調査を行うとともに、引き続き事務局で指定に向けた事務処理を進めることとなった。

イ 道指定無形民俗文化財（民俗芸能）の指定候補物件について事務局から説明し、協議を行った。

協議の結果、当該物件について、委員の詳細調査を行うとともに、引き続き事務局で指定に向けた事務処理を進めることとなった。

※ 物件名については、所有者等が特定されるおそれがあるためホームページ公開時は除いています。

ウ 無形民俗文化財（民俗技術）指定に向けた取組について事務局から説明し、協議を行った。

協議の結果、引き続き事務局で作業を進めることとなった。

エ 平成31年2月27日付けで北海道教育委員会教育長から北海道文化財保護審議会に対し、無形民俗文化財「姥神大神宮渡御祭」の指定について諮問されたため、審議を行った。

審議の結果、北海道文化財保護条例施行規則第53条に定める指定基準に該当することから、無形民俗文化財（風俗慣習）に指定するよう答申することを決定した。

(4) その他の情報提供

次の項目について、事務局から説明した。

ア （仮称）北海道文化財保存活用大綱（構成案）について

イ 平成31年度日本遺産申請案件について

ウ 胆振東部地震への対応について

エ アイヌ遺骨の地域返還等について